



正門から校舎を望む。正門の脇（向かって左）には学校のシンボル・ヒマラヤ杉がそびえる

木の根のように、栄養を
いっぱい吸収してほしい

正門の横に、大きくそびえ立つ
ヒマラヤ杉。城北が板橋に根を下
ろして以来、80年にわたって生徒
たちを見守り続けました。校長の
小俣力先生は、「このヒマラヤ杉
のように凛と大きく育つてほしい」と
たびたび生徒に語りかけて
います。「でもね」と、小俣先生
は続けます。実は小俣先生は大学
時代に林業を学び、木の根がどう
なっているのか調べるために、土を
掘り起こした経験があります。

「幹や枝を支えるために、地下深
く根を張り巡らして土壤から栄養
分を吸収しています。本校の生徒
も、目に見えないところで、いっぱ
い栄養を吸収して、大樹のような
大きな男に育つてほしいのです」

その土壤が城北です。小俣先生

「人間形成と大学進学」を
教育目標に掲げる城北。
広々としたキャンパスに整った設備や施設、
クラブ活動は47あり、強豪クラブも多い。
生徒思いの情熱あふれる先生と、
切磋琢磨して成長する仲間たち。
城北には、生徒を伸ばす土壤がある。

は「やつてみたいと思った事に挑
戦できる教育環境を提供するのが
学校の役割」と力を込めます。

「教育面のソフトでは教員がいち
ばん大切です。教員は学校の財産。
本校の教員は教育熱心で、すばら
しい先生ばかりです」

ハード面での設備の改善も進ん
でいます。もともと都内有数の広
さを持つ恵まれたキャンパス。今
年の9月には1万1千平方メートル
のグラウンド全面に人工芝が敷
かれ、水はけが良くなり、雨後の
早期利用が可能になりました。



今年9月に完成したばかりの人工芝グラウンド。
水はけが良く降雨後の早期利用が可能に。天気の
良い日はグラウンドに寝転ぶ生徒も多いとか



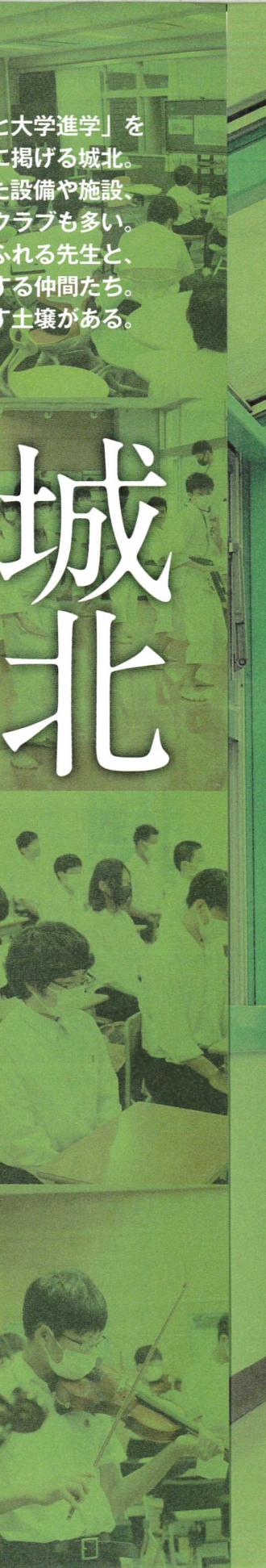
校長・小俣 力先生
2014年就任。第8代校長

DATA

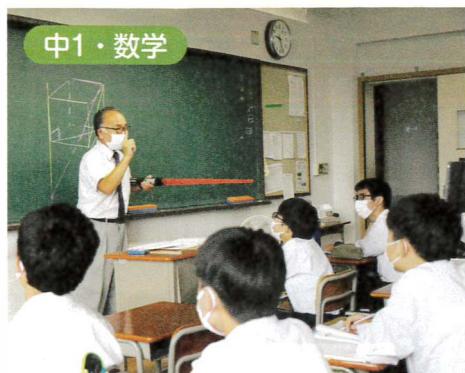
男子校

取材日
2022年9月24日(土)

り、水深180センチメートルの
本格的な完全屋内温水プールで1
年中練習に励みます。体育館、武
道場、テニスコート、ハンドボーラ
ルコートと、運動施設は都内でも



撮影に協力してくれたのは、高校2年生の4人。撮影場所は大きな窓ガラスから、さんざんと光が降り注ぐ渡り廊下。リラックスした笑顔に、高校生の余裕が感じられる



幾何の授業。立方体の図形がテーマ。中1は幾何と代数を分けて学ぶ



コラム 2

城北のICT教育



データの扱い方を学ぶ。WEBから、自分の身近な生活において誤解を招きやすいように作られている統計グラフを見つける

中1の1学期は先行して代数を行う。「方程式を利用する文章題などは算数の知識でも解けるのですが、それではいつまでも数学の思考が身につきません。一般的な解法に触れていくことで、思考を算数から数学へ移行させます」(渋谷先生)。同時に高校で履修する不等式も、授業に取り入れる。関連した分野をまとめて学習することで、より方程式への理解を深めるためだ。2学期から幾何に入り、再び代数に戻って関数を履修する。中1は、代数と幾何を分けて学ぶことでより習得が確かになるという。中2からは数学的な考え方方が身についているので、代数と幾何を平行して進める。中学生の範囲は中2で終え、中3から高校の数学IAを取り入れる。高校入学生がいるため、中入生は高1はゆったりと進む。余裕がある分、つまずいている分野を克服したり、数学が得意な生徒は大学入試問題にもチャレンジしたりしている。

数学

中2と中3は習熟度別に授業を行うことで、数学が苦手な生徒も取りこぼさない。中1は週に数回プリントの課題を出して添削。答えだけでなく過程もしっかりチェック。



数学科主任
渋谷隆之先生

城北では早期からICT教育への取り組みを始めている。中1～中3で週に1時間学ぶ「情報」は、総合学習の時間を利用したオリジナル授業。動画や音楽制作といったクリエイティブなICTスキルのほか、リテラシーやプログラミングなど幅広く学ぶ。ここでの学びは卒業研究・制作や理科自由研究の発表にも活かされている。端末は生徒用にiPadとノートPC・MacBookなど500台が整備されている。また、私物端末を持ち込むBYOD(Bring your own device)も導入しており、家庭でも学校の延長上の学びができるよう取り組んでいる。



「生徒は教師が間違ったことを教んでみて」と尋ねることがあります。盲目的にならないように、授業中あえて間違った内容を紛れ込ませ『どこか間違っているよ。探し

数学科主任の渋谷隆之先生は、「数学の楽しさは、自分で獲得した知識を使って新たな問題に立ち向かうこと。あたりまえだと思うことに対しても、数学で説明できる場合があります」

た」(根上先生)



4人一組で化学の実験。「電解質とイオン」をテーマに、電解質と非電解質、物質そのものと水溶液にした時の性質を調べる



理科

理科は、実験や実習を数多く取り入れているのが特徴。中1・中2の「基礎期」には、年に約20回実験を行う。実験の後は、結果と考察をレポートやプリントにまとめて提出する。

コラム 1

夏休み理科自由研究

中1・中2の夏休みには「理科自由研究」の課題が出される。疑問を探し、解決法を見つけて実験や観察を行いレポートにまとめる。中2生には1学期早々にテーマを決め、夏休み前から観察を行う生徒もいるという。中1は上野動物園で学芸員の説明を聞いたり、中2は長瀬巡査、中3は国立科学博物館で研修を行ったりするなど、校外学習にも多く出掛ける。生物と物理は高2、化学は高3の1学期までに高校の内容を終え、大学受験の演習に取り組む。対策を早くから始めることで、安心して受験に臨んでもらいたいという狙いがある。



理科主任
根上英嗣先生



歴代の先生による収集、大学からの寄贈などの標本が展示されている。鯨の胎児など、めずらしい標本も



21年度金賞作品のひとつ「渦のマジック!?」のレポート。コーヒーにクリームを入れた時にできる渦に着想を得た時にできる渦に着想を得た



優秀作品は冊子にまとめられる。歴代の優秀作品が掲載された作品集は、厚さ10センチに及ぶほど厚い

群を抜く環境です。

「心を育てる教育」にも力を入れ、芸術や実技の授業も大切にしています。音楽は声楽室と器楽室の2教室で展開。1クラス分のヴァイオリンを準備し、2021年から中3生全員と高1の選択者にヴァイオリンの授業を取り入れました。

オリンピックの観客を前に、演奏会を開きたいですね」(小俣先生)と夢中3生全員と高1の選択者にヴァイオリンを準備し、2021年から

中3生全員と高1の選択者にヴァ

イオリンを準備し、2021年から



中高ではめずらしく、水球を行っている。強豪クラブで、今年は国体で優勝した東京都のチームに、同校から2人の選手が出場。また、中学はジュニアオリンピックに出場した



水泳部

クラブ活動



整備されたばかりの人工芝のグラウンドで練習。この日は小雨が降っていたが、人工芝グラウンドのおかげで多少の雨でも安全に練習ができる



見学した日は、近隣の高校と練習試合。一進一退の攻防を繰り広げていた



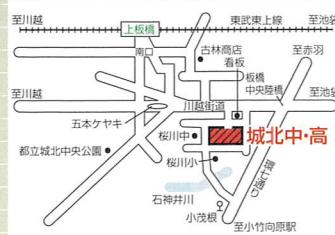
高校は全国大会優勝を果たした強豪。高校生が中学生を指導する。中学生も今年の全国大会男子団体演武で4位の実績を上げている



10月に開催される文化祭に向けて最後の調整。田舎の町をイメージして模型を作成。文化祭では広い多目的ホールいっぱいに展示をする。夏には地方合宿も実施



群馬県の片品村で部員が採集した昆虫の、標本作りを行っていた。標本にした昆虫に、一匹一匹ラベルを添えて丁寧に標本箱に入れていく

城北プロフィール <https://www.johoku.ac.jp/>

●住所

〒174-8711
東京都板橋区東新町2-28-1
☎03-3956-3157

●交通

東武東上線「上板橋駅」徒歩10分。西武有楽町線・メトロ副都心線「有楽町線」「小竹向原駅」徒歩20分。JR中央線「高円寺駅」・JRなど「新宿駅」からバス。

●中1総人数

1クラス人数×クラス数(2022年)
286名・40~41名×7クラス
●併設小学校からの入学者数
併設なし

●高校募集定員数(2023年)

約85名
●大学合格実績(2022年春の合格者数・抜粋)

卒業生数329名 *()内はうち現役数
東京大9(6)名/京都大4(2)名/一橋大5(4)名/東京工業大3(3)名/北海道大9(5)名/東北大6(5)名/大阪大7(2)名/千葉大6(4)名/筑波大4(4)名/東京外国語大3(2)名/東京都立大6(5)名/東京農工大16(8)名/横浜国立大3(3)名/慶應義塾大66(52)名/早稲田大106(84)名/上智大33(18)名/東京理科大144(99)名/明治大160(120)名/青山学院大33(20)名/立教大60(33)名ほか

取材・文／柿崎明子 PHOTO／中林香

成長できる環境が整っている学校です

城北を選んだ理由は?

西野開洋さん キャンパスには木々がたくさんあって、隣は城北公園。のびのび学校生活を送ることができると思いました。

石割奏輝さん 文化祭で訪れ、男子校ならではの盛り上がりがあり、とても楽しかった。少林寺拳法部の演武に感激しました。

高2 藤井徹太さん

好きな科目は? 授業の様子

藤井徹太さん 中学の数学ではプリントの課題が出されて、先生と一緒にやりとりしました。答えがあつてもやり方が適当だったり、過程でミスがあつたりするとやり直しです。丁寧に添削してくれるの

伊藤康太郎さん 理科が好きです。実験や実習が多いと思います。高校の範囲はすでに終わって、大学受験の演習に入っています。模試の成績も、城北は理科が高いと聞きました。

西野 高校は、リスニングで映画クラブ活動の種類が多く行事や海外研修も豊富。やりたいことを見つけられる学校です

石割さんは卒業研究で金賞に選ばれ、発表しましたね。

西野 はい。プロ野球の日本ハムが好きなので、全試合のスコアを独自に集計し分析しました。卒業研究は教科に縛られず、自分の好きなことをテーマにできるので、思い切り打ち込めました。

高2 石割奏輝さん

城北のアピールを!

西野 先生は個性があり、生徒もみんな優しい。みんなで高め合って伸びていただける学校です。

伊藤 第1志望じゃなかつたけど、本当に良い学校だと思います。将来自分に男の子ができるなら、絶対城北に入れます(笑)。第1志望じゃなかつた人も、充実した6年が過ごせますよ。

藤井 授業も楽しいし、悩み事は先生が親身に応じてくれます。自分は城北で成長できました。



高2 伊藤康太郎さん

生徒インタビュー

キャンパスは緑が豊かで校舎も広い。設備も整っており勉強する環境が整っています

などの自然な会話の音声も使うので、実践的な英語が身につきます。カナダのホーム留学に参加しましたが、国によって「普通」のことの中身が違う。コミュニケーションが重要だと実感しました。

親身になってくれる先生と仲間がいる。将来自分に息子ができるたら絶対城北に入れます!